

令和5年12月21日

武蔵野市長職務代理者
武蔵野市副市長 伊藤英穂 殿

武蔵野市下水道施設長期包括業務委託
事業者選定委員会

委員長 長岡 裕

武蔵野市下水道施設長期包括業務委託事業者の選定結果について

武蔵野市下水道施設長期包括業務委託に関する公募型プロポーザルによる事業者選定について、厳正な審査を行った結果、下記のとおり最優秀提案者を選定しましたので報告します。

記

1 選定結果

- ・最優秀提案者 むさしの下水道管路共同企業体
 (代表企業) 積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー東日本支店
 (構 成 員) 浅間保全工業株式会社 武蔵野支店
 管清工業株式会社 東京本部 西東京営業所
 三栄建設株式会社 武蔵野支店
 株式会社西部土木
 日本水工設計株式会社 東京支社
 株式会社武蔵野トランスポート
- ・次点者 なし

2 選定経過

(1) 第1回委員会

令和5年7月9日(日)に開催し、委員会の運営方法、審議内容、優先交渉権者決定基準及びスケジュール等について確認し、必要な修正箇所の抽出を行った。

(2) 第2回委員会

令和5年7月20日(木)に開催し、公募資料(案)(公募型プロポーザル実施要領・優先交渉権者決定基準・様式集)の審議及び修正等を行った。

(3) 事業者の応募状況等(第1次審査)

令和5年8月21日(月)に公募を開始し、質問期間を経て回答を行い、9月19日(火)から9月26日(火)にかけて参加申込書を受け付けた。1者の参加申込があり、事務局に

て提出書類（参加資格確認書類）を確認した結果、当該事業者が参加資格を満たしていることが認められた。

令和5年11月1日（水）から17日（金）にかけて企画提案書の受付を行い、1者から企画提案書（技術提案書及び価格提案書）が提出された。

(4) 第3回委員会（第2次審査準備）

令和5年12月14日（木）に開催し、第2次審査に向けたプロポーザル審査方法等に関する確認を行った。

(5) 第4回委員会（第2次審査）

令和5年12月21日（木）に武蔵野市役所内812会議室において、第1次審査を通過した1者について、プレゼンテーション及びヒアリングを非公開で行った。優先交渉権者決定基準等に基づき、企画提案書類及びプレゼンテーション・ヒアリングによる技術評価審査及び価格評価審査を実施した。

プレゼンテーション及びヒアリングの後に、各委員による技術評価点が提出され、価格評価審査を行った後、総合評価点（技術評価点＋価格評価点）を算出し、以下のとおり、最優秀提案者を選定した。

提案者（事業者）	技術評価点	価格評価点	総合評価点
むさしの下水道管路共同企業体	579.2/800	200.0/200	779.2/1000

※技術評価点における最低基準点 380点

・最優秀提案者 むさしの下水道管路共同企業体

3 総評

むさしの下水道管路共同企業体の企画提案については、定量評価項目である技術評価4項目では、特に技術力の評価（官民連携事業の受注実績）、配置予定技術者の実績（管路施設に関わる受注実績）、地域貢献に関する提案（武蔵野市内構成員の数）において、本業務を遂行する上で豊富な業務実績と実行性のある実施体制の提案であった。また、定性評価項目である技術評価13項目においては、特に安全管理・危機管理、統括管理業務、計画的維持管理業務及び改築業務（工事）に係る項目について優れた提案があった。

今後、共同企業体からの提案に基づき、価格及び仕様等の交渉を経て、契約を締結し、令和6年4月より滞りなく本事業の導入を実施されたい。

なお、契約締結後、市と共同企業体が協議及び連携し、より良い事業の遂行を望む。

4 武蔵野市下水道施設長期包括業務委託事業者選定委員会 委員

委員名	所属	役割
長岡 裕	東京都市大学 建築都市デザイン学部教授	委員長
佐藤 克己	日本大学 生産工学部教授	委員長代理
佐藤 研三	公益社団法人 日本下水道協会 技術課長	
樋爪 泰平	武蔵野市財務部長	
大塚 省人	武蔵野市環境部長	